

# 第1号議案 2016年度事業報告、決算報告及び剰余金処分案 承認の件

## I 2016年度事業報告

### 1 組合の事業活動の概況に関する事項

本年度は、総合売店の運営を委託されてから5年契約の最終年を迎えました。次期公募においても指名を勝ち取るよう役職員はじめ組合員の協力を得ながら、新たな気持ちで日々の供給活動に取り組んできました。その結果、本省、筑波とも前回同様に総合売店として出店することが出来ました。

#### (1) 当該事業年度の末日における主要な事業活動の内容

- ①売店事業、共同購入事業、指定店供給事業における組合員への商品供給に関する事業及び保険サービス事業
- ②主要な取扱い事業種目等

事業種目	取扱品目等
売店事業	薬品、飲料水、弁当、パン、菓子、その他食料品、衣料品、日用品、文房具、化粧品、酒類、たばこ、ハガキ・切手・印紙等、被災地支援商品、クリーニング、靴・靴修理、時計の電池交換、写真、コンタクトレンズ、宅配便他
共同購入事業	被災地支援商品、DXミルクチョコレート他
指定店供給事業	ガソリンカード、車検、引越し、節句人形他
保険サービス事業	グループ保険、団体傷害保険、団体契約保険他

#### (2) 当該事業年度における事業の経過及びその成果

2016年度事業計画に則り事業を推進した結果、総事業高は、3,141,597千円（前年対比95.6%、計画対比95.5%）となりました。

これを事業分野別で見ると（表1）のとおりです。

（表1）直前3事業年度の総事業高（単位千円）

区分		13年実績	14年実績	15年実績	16年実績	前年比%
供給事業	売店供給	153,181	160,289	158,950	153,850	96.8
	共同購入供給	22,292	22,090	18,583	17,075	91.9
	指定店供給	87,206	85,324	79,175	60,299	76.2
	計	262,679	267,703	256,708	231,224	90.1
保険サービス事業		3,258,709	3,158,467	3,028,583	2,910,373	96.1
合計		3,521,388	3,426,170	3,285,291	3,141,597	95.6

#### ① 売店事業

##### 【本省総合売店】

安全、安心、低価格の「CO・OP商品」を中心に、職場でのニーズが高い飲料や

菓子等の目玉商品を随時提供しました。

おにぎり等の充実を図るため、新たに、直まきおにぎりや手作りサンドイッチ等、商品の品揃えを工夫しました。

また、引き続き、ポイントカードによるご利用者へのサービスを行いました。

『農林水産省らしい食材・食品にこだわった商品の販売を心掛けること』をテーマにして、農山漁村の女性達が取り組む、各地域の原材料を使用して作った商品を販売する「女性起業家プチ♥マルシェ」を開催し、全国9団体の商品24種類を取り扱いました。

その他に、関連の取り組みとして「日本の米カレンダー」や、「NORIN-TEN」などのチケット販売、さらにさつまいも新品種「クイックスイート」の焼き芋販売や、「くじら汁の試食販売」を行いました。

また、農林水産省所管の研究機関で開発された商品や、大学と地域とが共同開発した産学共同の商品を販売し、農林水産省の職域に相応しい売店づくりに力を注ぎました。

被災地の復興を応援するため、「被災地を食べて応援しよう！」への取り組みを継続しました。特にイベントスペースでは、福島県の米、果物、飴、はちみつや加工商品等を販売し、また、本年度に発生した熊本地震の復興支援として、熊本県の名産品（黒糖ドーナツ棒や天草サブレ・黒胡麻太鼓）の菓子や加工商品を販売し、好評を博しました。

7月～8月に実施された国家公務員における「ゆう活（夏の生活スタイル変革）」及び「子ども震が関デー：7/27～28」にも積極的に協力しました。

「消費者の部屋」特別展示での関連商品を農林水産省北別館出入口で販売し、農林水産省の消費行政に協力しました。（日程と特別展示の内容は下記のとおりです）

- ・ 大学は美味しい（5月9日～5月13日）
- ・ 世界農業遺産（5月23日～5月27日）
- ・ 熊本の復旧・復興（5月30日～6月3日）
- ・ 食育の週（6月6日～6月7日）
- ・ 「復興庁：東北推進月間」、東北3県（岩手、宮城、福島）（6月13日～6月30日）
- ・ さつまいも、じゃがいもの週（10月24日～10月28日）
- ・ 環境にやさしいエコファーマーの活動（11月7日～11月11日）
- ・ 和の空間でおもてなし（11月15日～11月18日）
- ・ 食べるくじらをもっと身近に、簡単に（1月10日～1月13日）
- ・ LOVE フラワーバレンタイン（2月6日～2月10日）
- ・ 創ろう、東北、新時代（3月6日～3月10日）

#### 【筑波総合売店】

コンビニ店「いいじま」が5月末に撤退後、6月から生協が新たにコンビニ店を運営し、公募時の提案書のコンセプトを基本にしながら利用しやすい売店づくりに努めてきました。

筑波地区においては農林水産省所管の研究機関が集中していることから、その研究

機関で開発した品種を利用した「機構商品」（清酒、焼酎、うどん、緑茶、ヨーグルト、ごま、梅等）の紹介を積極的に行いました。

産直の新鮮野菜や手作りパン・酵素玄米の弁当等の取り扱いや、地域との繋がりも強いことから、つくば物産会の商品やその中でも特に優れた商品と市が認証した「つくばコレクション」の商品の取り扱いにも心がけ、その特性や地域性を活かした事業を推進しました。また、生協ならではのコープ商品は種類を増やし継続的に取り扱い、特徴ある売店づくりに取り組みました。

さらに、恒例の中元・歳末セールを実施し、魅力あるセールにするため各賞（景品に機構商品・コープ商品を取り揃える等）を用意してより多くの方に楽しんでいただけるよう工夫をしました。

ポイントカードの満点券で引換できる企画など、引き続きポイントカードの推進に努めました。

しかし、筑波地区における総合売店の運営は、職場環境の変化と近隣の大型店の増加により厳しい状況が続いています。

## ② 共同購入事業

「被災地を食べて応援しよう！」の取り組みを継続し、東北地方の農畜水産物の米、桃・リンゴ・さくらんぼ・あんぽ柿・いちご、牛肉等を斡旋いたしました。

その他、「菊川の深蒸し茶」、「和歌山の梅干し・温州みかん」、「富山県の球根」や「北海道のアスパラ・とうきび」、「奈良県西吉野産富有柿」といった日本各地の名産品を取り扱い、季節ごとのニーズにも対応できるよう努めました。

また、今期より再開した鯨肉の斡旋では、多くのお申込みがあり、本省内の方には職場へお届けしました。

## ③ 筑波事務室供給事業

多様なニーズにお応えするため、売店では対応できないインターネットによる書籍や家電製品の販売店と契約をしていること、それらのお店の割引購入が可能であることを機会あるごとに紹介しました。また、関東鉄道バス回数券及び郵便切手類販売所として切手・印紙・レターパック・年賀状などの販売を行いました。

さらに、「売店情報」や「農林生協筑波のお知らせ」を毎月配付し、継続して機構商品及び新規取扱商品、つくばのお土産品などの取り扱いを紹介し、より一層ご利用いただけるよう宣伝活動に努めました。

## ④ 指定店供給事業

ENEOS ASSOC カード（ガソリン）を、退職後も引き続き利用・入会可能とすることで、利便性の継続に努めました。

また、車検、引越、節句人形、レンタカー等の宣伝を行い組合員のご利用に寄与しました。特に、農林生協組合員だけに特典がある紳士服の割引や車検・中古車買取りサービス・葬儀関係等については、毎月の共同購入にあわせてチラシを配付し、周知いたしました。

●今年度新規契約業者：(株)鳳友産業（葬祭・墓石等）・(株)末広（貴金属等）・(株)ユニクエスト・オンライン（小さなお葬式）

なお、長期に亘って利用されていない指定店についての現状調査を引き続き実施いたしました。

部門別供給事業の内訳は（表2）のとおりです。

(表2) 部門別供給実績表 (単位千円)

区 分	前年度実績	当年度計画	当年度実績	対前年比%	対計画比%	
売店供給	本省売店	88,945	91,489	87,809	98.7	96.0
	本部事務室	1,182	1,257	765	64.8	60.9
	筑波売店	44,640	41,305	40,796	91.4	98.8
	短期店	13,111	13,700	12,238	93.3	89.3
	筑波事務室	6,244	6,120	9,448	151.3	154.4
	バス券	4,828	4,803	2,794	57.9	58.2
	計	158,950	158,674	153,850	96.8	97.0
共同購入	18,583	19,994	17,075	91.9	85.4	
指定店	指定店	76,820	78,782	58,155	75.7	73.8
	無店舗	2,355	2,355	2,144	91.0	91.0
	計	79,175	81,137	60,299	76.2	74.3
合計	256,708	259,805	231,224	90.1	89.0	

## ⑤ 保険サービス事業

### 【団体契約】

団体契約保険（直営保険）は、団体（農林生協）が契約者となることにより、その有利性（スケールメリット等）を活かして組合員に募集案内ができる保険で、グループ保険（団体定期保険）をはじめ拠出型企業年金保険（年金ライフ）、傷害保険（交通・傷害、レジャー、自転車）等があります。

### 【グループ保険】

「生協グループ保険」は、①病気やけがによる死亡・高度障害を保障する団体定期保険です。さらに②入院保障（医療サポートプラン）や③三大疾病（生活習慣病プラン）の特約を付けることにより保障の充実が図れ、本年も多くの加入者のお役に立ってきました。

この保険は1年の更新型で、収支決算の結果剰余金が生じた場合は配当金として還元されることから、今回は保険料の約4.0ヵ月分を平成29年4月20日（木）にお返しすることができました。

また、グループ保険の①病気やけがによる死亡・高度障害を保障する団体定期保険は、平成28年11月20日を以て制度を廃止いたしました。既加入者様へは、制度廃止の最終通達（平成28年9月末）・代替プランの事前説明についてのお知らせ（平成28年1月・6月）等を行い周知しました。

なお、グループ保険の②入院保障（医療サポートプラン）③三大疾病（生活習慣病保障プラン）につきましては、今後も制度を維持していくこととなり、新規加入の受付を随時行うと共に、9月の募集時においては「グループ保険説明会（本省1回・筑波1回）」を開催し、加入促進に努めました。

**【団体契約の傷害保険等】**

団体契約の傷害保険は、その有利性（スケールメリット等）を活かして幅広い取り扱いを行っており、その紹介に努めました。

なお、農林生協の団体契約の有利性を最大限に生かして今後も推進していく一方で、長年にわたって多様なニーズに対応してきた結果、保険種類も多様化し複雑化しているため、一部の保険会社については募集時期を統一し、また、内容等の見直しを含めた検討を進めました。

**【保険事業実績】**

個人契約の保険が相変わらず減少傾向にあり、全体としては、組合員による保険内容の見直し等が行われ、前年実績を下回る結果になりました。年払い保険（レジャー保険、自転車保険）では、自転車保険の新規加入者が多くありました。

保険全体の取扱高は（表3）のとおりです。

（表3） 保険サービス事業実績表

（単位千円）

区 分	前年度実績	当年度計画	当年度実績	対前年比%	対計画比%
団 体 契 約	262,641	262,100	228,902	87.2	87.3
団 体 扱 い	2,757,345	2,760,000	2,673,410	97.0	96.9
年 払 保 険	8,597	8,603	8,061	93.8	93.7
計	3,028,583	3,030,703	2,910,373	96.1	96.0

**⑥ 教宣活動、文化・スポーツ活動**

（ア）ホームページの充実・宣伝

「農林生協ホームページ」（<http://www.nourinseikyoku.jp/>）は、今や農林生協にとって組合員への情報提供に欠かせないものとなっており、見やすく分かりやすいよう改善に努め、身近なホームページとしてご利用していただけるよう工夫しました。

全国の組合員に「被災地を食べて応援しよう」等の商品を発信して、より多くの皆様にご利用いただけるよう努めました。

また、パソコン・携帯などがあれば、自宅等において個人の生協の利用状況の確認や農林生協に係る諸々の手続きが可能なことから、そのPRに努めました。

（イ）教宣活動

機関紙「虹のなかま」をホームページ上に掲載し、隔月（奇数月）で発行しました。

また、退職者の方（保険加入者）には「農林生協だより」第7号を11月に発行、送付しました。

（ウ）生協強化月間

10月～11月の生協強化普及月間においては、機関紙「虹のなかま」でホーム

ページ上に掲載し、加入促進を図りました。

#### (エ) 文化・スポーツ活動

組合員との交流を深める場として、本年度生協が主催して実施等したスポーツ活動及び参加状況は次のとおりです。

・筑波ボウリング大会（8月25日）＝ユーワールド（参加者21名）で実施しました。

また、本省におきましては、本年度の計画について検討を重ね、「はとバスツアー」を2月下旬から3月上旬に掛け募集をし、4月5日（参加者17名）に実施しました。

### ⑦ 事務局活動

事務局運営会議を月一回開催し、今後の業務方針の検討、現状の業務内容の確認等を行い、事務局職員の情報共有及び現状認識の統一に努めました。

### ⑧ 労働組合との連携

「生産と消費を結ぶ連絡会活動」の取り組みの一環として、全農林東京ブロック協議会主催のもと、農産物の国内自給率向上を目指す運動発展のため、本館地下中央廊下において各地の国産農産物等の宣伝販売を実施しました。そのための各団体との出店調整を図りました。

本年度に実施した内容は（表2）のとおりです。

（表2） 農産物等の展示販売

出店団体	実施月	宣伝品目
ワーカーズコレクティブ歩	4・6・9・11・12・2	手作りクッキー
野中洋らん店	4・6・9・11・12・2	洋らん

### ⑨ 消費者運動等

東日本大震災復興支援への取り組み

(ア) 被災地の復興を支援するため、「被災地を食べて応援しよう」への取り組みは、共同購入及び総合売店で実施し、被災地4県の農畜水産加工商品54種類を取り扱い、販売しました。

(イ) 本省総合売店に募金箱を設置し、東日本大震災復興支援募金に取り組み、3月31日現在、15,212円のご協力をいただき、福島県生活協同組合連合会「福島の子ども保養プロジェクト（コヨット!）」へ送金しました。

また、本年度発生しました熊本・大分地震支援緊急募金にも取り組み、3月31日現在、45,583円のご協力をいただき、送金しました。

### (3) 当該事業年度における重要な事項

①増資及び資金の借り入れその他の資金調達

該当事項はありません。

②組合が所有する施設の建設又は修繕その他の設備投資

該当事項はありません。

③他の法人との業務上の提携

該当事項はありません。

④他の会社を子法人等及び関連法人等とすることとなる場合における当該他の会社の株式又は持分の取得

該当事項はありません。

⑤事業の全部又は一部の譲渡又は譲受け、合併その他の組織の再編成

該当事項はありません。

(4) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

(単位：円)

項目	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
組合員数(人)	18,845	18,707	18,633	18,188
出資金額(円)	21,181,000	20,992,500	20,883,500	20,380,000
供給高	96,438,704	101,053,978	106,077,194	125,670,206
その他事業収入	101,009,433	97,611,621	94,931,552	88,887,055
経常剰余金	△7,570,626	4,858,951	4,580,742	33,115,621
資産	187,755,783	201,415,117	200,436,276	217,443,393
純資産	86,389,871	88,317,271	74,684,506	102,715,885

(5) 対処すべき重要な課題

該当事項はありません。

(6) その他組合の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。